

資料2 設置構想資料

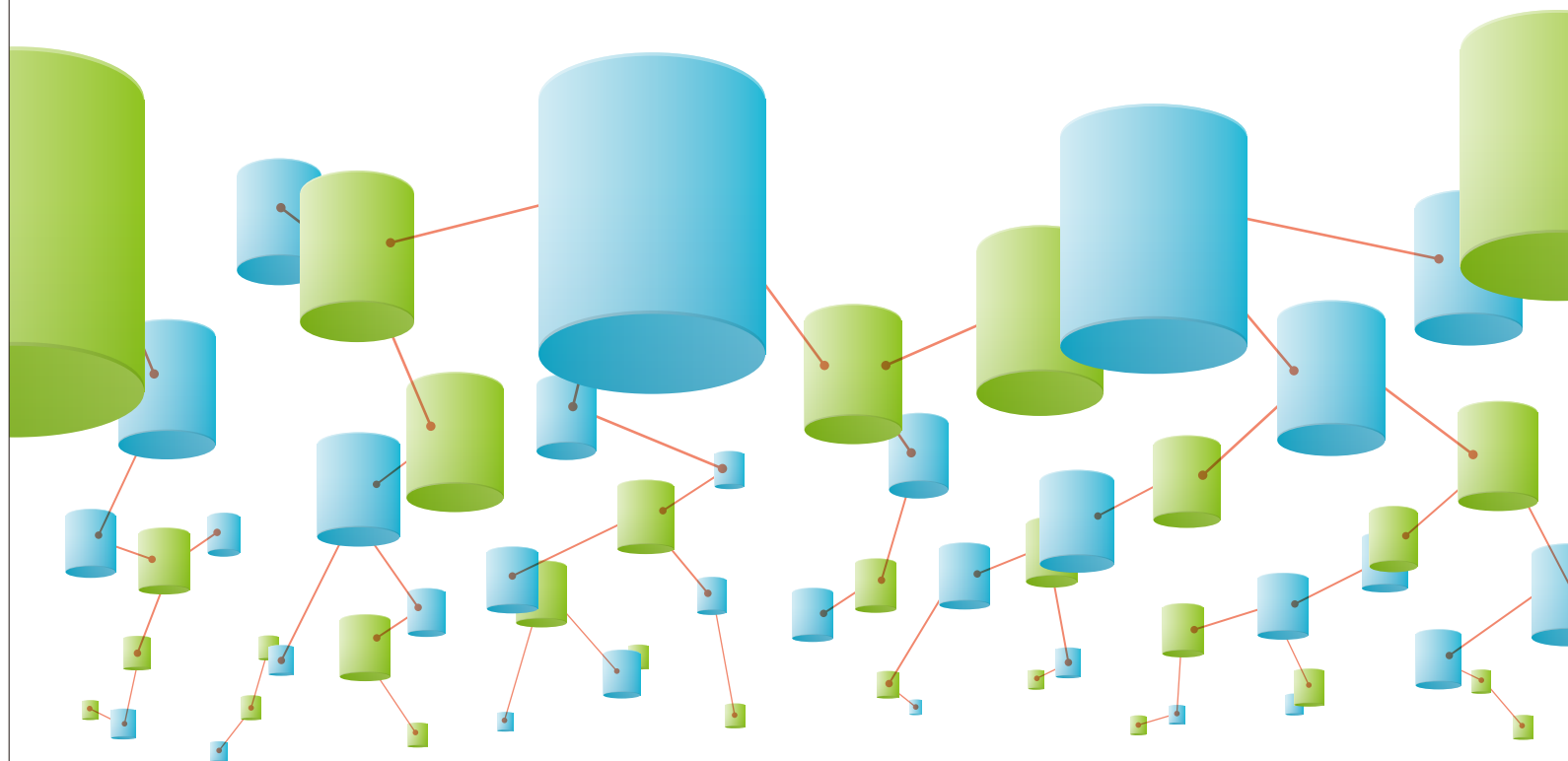
[2019年4月 開設予定]

設置構想中

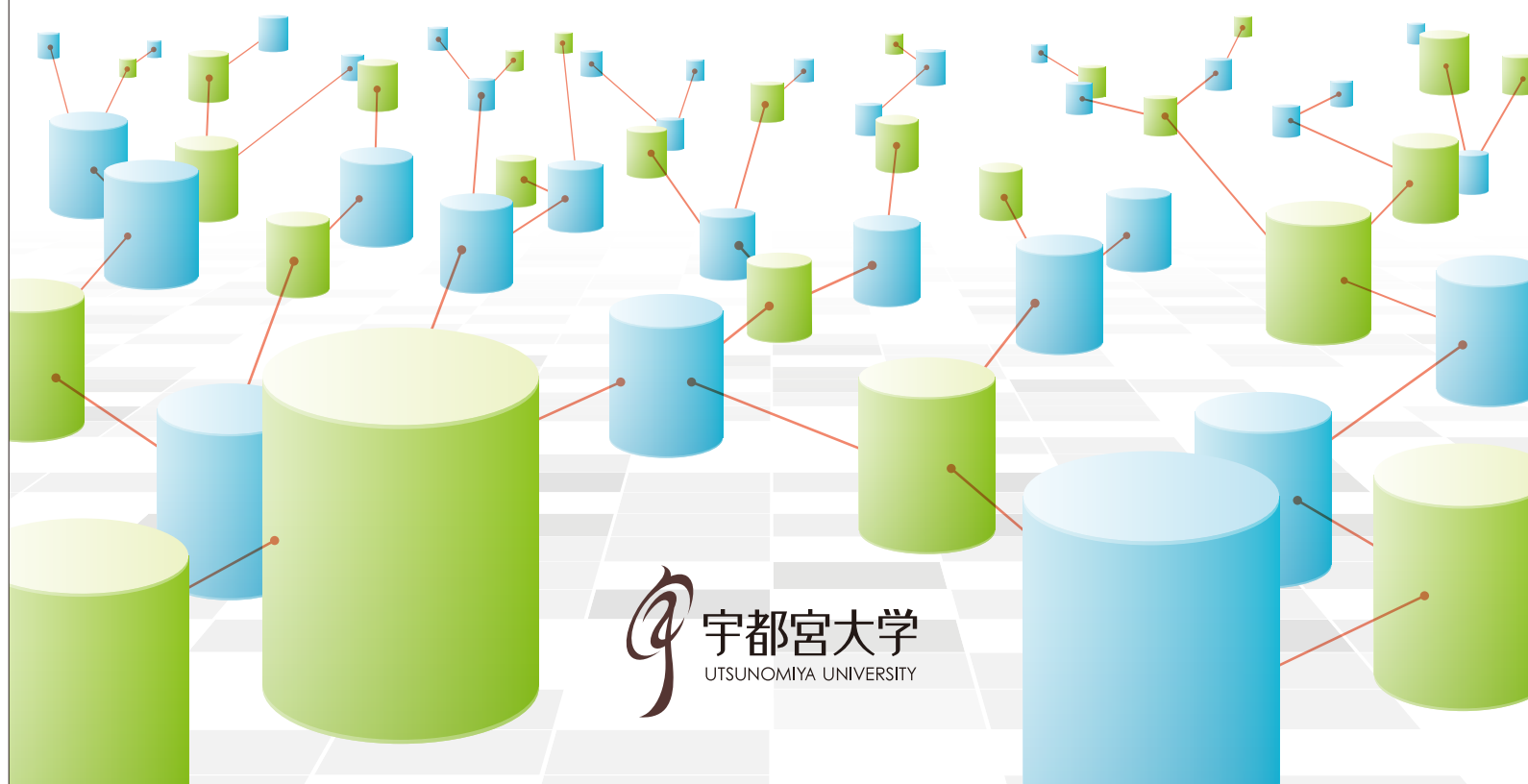
予定であり、変更する場合があります。

宇都宮大学大学院

学際創生科学研究科



宇都宮大学大学院に、
地域の課題を創造的に解決する
新たな知の拠点が誕生します。



Topics

研究科独自の取り組みにより、 多様な「知」と出合える環境を実現します。

1

集中型グループワークの 必修科目で本質を考え抜く

新たな領域の課題に挑戦するうえで、物事の本質を深く追究するための高度な教養(=科学リテラシー)は大きな支えとなります。「現代社会を見通す:生命と感性の科学」は、人文社会科学や自然科学を見つめる力の養成を目的とした必修科目で、異なる専門分野の学生が集うグループワークを2日間で集中的に実施。分野を超えた濃密な意見交換を通じて、融合的な思考力やコミュニケーション能力を磨きます。

2

研究サロンによる ひとつ上の実践力の養成

学際的な思考や実践力を養ううえで、研究領域や世代を超えて、研究者、教員、実務家、学生が集う「研究交流」は、たいへん重要な役割を担います。学際創生科学研究科(仮称・設置構想中)では、その拠点として「研究サロン」を設置。参加や発表を特別研究の必須アクティビティとして位置づけ、挑戦的な領域でのアイデアを生むきっかけづくりや、実践的な体験の機会を提供します。

3

グローバル化に 対応したプログラム

研究科の副専攻として「グローバルリーダー育成プログラム」を設置するのをはじめ、「海外留学」や「国際インターンシップ」、国際会議での研究発表などの教育活動を積極的にサポートし、グローバル社会で求められる広い視野や、大学院レベルでの英語運用能力を修得するための環境を充実させます。年間の学修計画に海外滞在を組み込みやすくするため、前期を1st・2nd、後期を3rd・4thで区切るクォーター制度も導入します。

入学料・授業料等 (平成29年4月現在)

入学料	授業料 (年額)	学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料 (2年間分)
282,000円	535,800円	2,430円

アクセス

宇都宮駅までのアクセス

東京	JR東北新幹線	約50分	宇都宮
上野	JR宇都宮線(快速)	約90分	
仙台	JR東北新幹線	約80分	
山形	JR東北・山形新幹線	約120分	
横浜	JR湘南新宿ライン(快速)	約120分	

※乗り換えにかかる時間は含まれておりません。

キャンパスまでのアクセス

- 峰キャンパス JR宇都宮駅から2.2km / バス約15分
- 陽東キャンパス JR宇都宮駅から4.2km / バス約20分



総務部総務課

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL.028-649-5009 / 5010 FAX.028-649-5027

[2019年4月 開設予定]

学際創生科学研究科

修士課程
(仮称 設置構想中)

入学定員
335名

大学院教育の新たな使命に挑戦する 創造的な学際研究が始動します。

「人類の福祉の向上と世界の平和に貢献すること」を理念に掲げる宇都宮大学は、社会の中核を担う人材の輩出と、知の創造・発信を使命に、実践を重視した教育研究を展開しています。現在本学は「活力ある持続可能な地域社会の形成」「グローバル化社会への対応」「イノベーション創出」を基本方針に据えた改革に取り組んでおり、「学際創生科学研究科(仮称・設置構想中)」は、それらを実現する地域変革の「知の拠点」として誕生します。文理融合によって地域課題の解決をめざす「地域デザイン科学部(2016年度新設)」を基盤に、既存の研究科の枠を超え多様な分野が混じり合う創造的な研究環境を整え、新たな時代をリードする人材の育成に向けて5つの使命に挑みます。



自走式イチゴ収穫ロボットの研究

1

21世紀に求められる高度な「科学リテラシー」の養成

物事の本質を深く考え、グローバル化に対応し、多面的な視野で課題に挑戦する人材を育成するため、学際的思考の基盤(生命科学・感性科学)、倫理観、実践的なコミュニケーション能力等の養成が必要になっています。

2

強み・特色ある領域で 世界水準の教育・研究を推進

強み・特色ある領域を文理融合・分野融合の視点から再編すると同時に、海外の卓越した大学との連携強化によって、世界水準の教育研究を推進することが求められています。

宇都宮大学が掲げる 大学院教育 の使命

3

文理融合・分野融合による 新領域創生への挑戦

高度化した地域課題に対応するため、俯瞰的な視野から複数の分野を結びつける構想力や、異なる分野を融合させて新たな領域に挑戦する行動力を備えた人材が求められています。

4

全学的な観点からカリキュラム体系を構築

根源的視野やグローバル化に対応できる能力、科学者・技術者としての倫理観など、全学的な観点からすべての大学院生に対し体系的に教授することが必要になっています。

5

組織の弾力化を実現

社会的ニーズの変化に弾力的に対応するため、専門分野の融合を活性化し、学内での連携教育を実践できる体制づくりが必要となっています。

印は右ページにまとめた学際創生科学研究科(仮称・設置構想中)の概要と対応しています。

宇都宮大学のアドバンテージ

多様性に恵まれた地域環境で、実践的な教育研究を展開します。

5つの学部と大学院を擁する宇都宮大学は、その広範な専門領域を生かし、文理融合・分野融合を機能させるためのさまざまな取り組みを実施しています。地域との連携による教育研究にも力を入れ、自治体等と結ぶ連携協定は74件にのぼります。また本学が拠点とする栃木県は、東京から新幹線で約50分の大都市近郊的な性格を持ってい

る一方、農業、工業、観光業がそれぞれ盛んで、一次産業から三次産業までのバランスがとれた「全国の縮図」としての特徴を有しています。「学際創生科学研究科(仮称・設置構想中)」では、地域連携の実績と、地域特性を生かし、多様な専門分野でフィールドワークを実施するとともに、地域課題に関する実践的な教育研究を強化します。



文理融合・分野融合を推進する2専攻体制で 高度な問題解決能力を備えた人材を育成します。

新しい領域への挑戦と創造を可能にする新体制で、大学院教育の使命を果たします。

理念

学際創生科学研究科の理念は、『地域の変革をリードする「知の拠点」として、21世紀の複雑化した課題を解決するために、新しい学際的な領域に挑戦することによって、革新的な制度・システム・イノベーション等の創生を支える高度な教育、研究、社会貢献を实践して、豊かな社会・生活の実現に貢献する』ことである。

育成する人材像

学際創生科学研究科

21世紀の複雑化した課題を解決するために、高度な専門知識・技術を身に付けるとともに、学際的な幅広い思考力と実践力を備えて、革新的な制度・システム・イノベーション等の創生に関して、主体的に行動できる人材を育成する。

地域創生科学専攻

21世紀の複雑化した地域や国際的な課題を解決するために、地域社会デザインや地域デザイン工学及び国際社会、多文化共生、人間発達に関する高度な専門的知識・技術を身に付けて、地域・国・世界の発展・創生に貢献する人材を育成する。

工農創生科学専攻

イノベーションの創造や関連する課題を解決するために、ものづくりや食・農業に関する工学系や農学系の高度な専門知識・技術を身に付けて、地域や産業の発展・創生に貢献する人材を育成する。

【組織構成】

改組前(4研究科15専攻)

国際学研究科(博士前期課程)
入学定員 30名

- 国際社会研究専攻
- 国際文化研究専攻
- 国際交流研究専攻

教育学研究科(修士課程)
入学定員 25名

- 学校教育専攻

工学研究科(博士前期課程)
入学定員 212名

- 機械知能工学専攻
- 電気電子システム工学専攻
- 物質環境化学専攻
- 地球環境デザイン学専攻
- 情報システム科学専攻
- 先端光工学専攻

農学研究科(修士課程)
入学定員 71名

- 生物生産科学専攻
- 農業環境工学専攻
- 農業経済学専攻
- 森林科学専攻

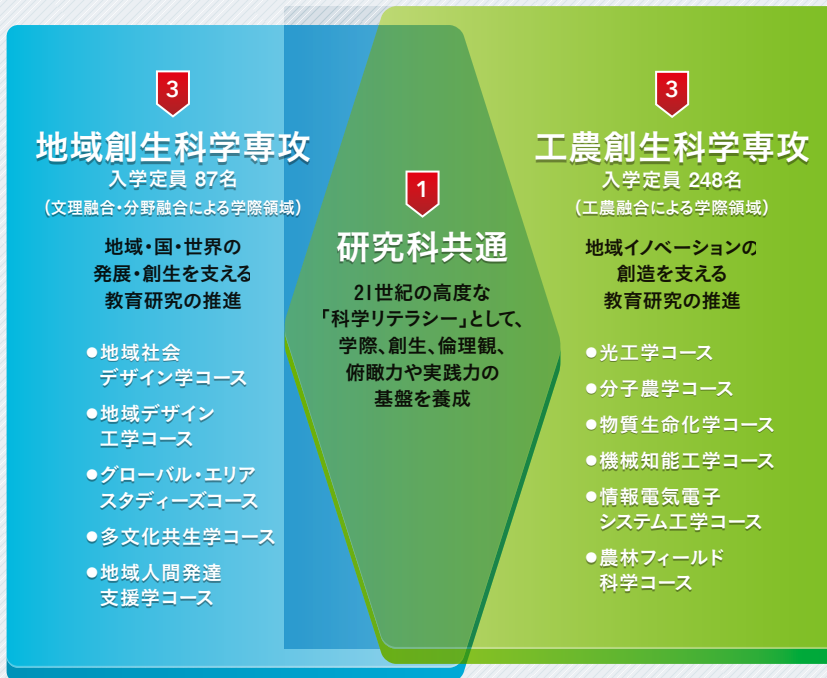
教育学研究科(専門職学位課程:教職大学院)
入学定員 15名

- 教育実践高度化専攻

改組後(2研究科3専攻11コース)

学際創生科学研究科(修士課程)

入学定員 335名



教育学研究科(専門職学位課程:教職大学院)

入学定員 18名

- 教育実践高度化専攻

PICK UP!

世界的な競争力をもつ研究を展開

アリゾナ大学光科学部と連携する「光工学コース」、バドュー大学農学部と連携する「分子農学コース」は、「先端光工学専攻」「生物生産科学専攻」から継続する、先端レベルでの技術交流を生かした研究を推進します。両大学との双方向的な連携にとどまらず、国内外の研究機関とも幅広く交流し、専門分野の高度な知見が凝縮された世界水準の研究環境を整えます。

共通科目

高度な研究の土台を築くための 共通科目を用意しています。

文理融合・分野融合によるものの見方、チャレンジ精神と実践力、俯瞰的な視野、高い倫理観などを養う科目を共通科目として配置。グループワークやフィールドワーク、インターンシップなどのアクティブラーニング、国際学会への参加などを行う特色ある科目も用意しています。

開講科目

研究科共通科目

- 現代社会を見通す：生命と感性の科学
- Academic Presentation
- Global Management
- Comparative Study of Contemporary Cultures
- 実践インターンシップ ●国際インターンシップ
- 臨地研究 ●フィールドワーク

専攻共通科目

- 地域創生科学専攻** ●知と実践の倫理 ●地域創生実践概論
- Project Management ●Global Communication
- アカデミックスキル ●アカデミックアクティビティ ●科学日本語
- 工農創生科学専攻** ●研究者倫理・技術者倫理 ●データサイエンス
- 実践経営マネジメント概論 ●創成工学プロジェクト演習
- 工農実践概論 ●アカデミックアクティビティ ●技術日本語

地域創生科学専攻 地域社会デザイン学コース

学位名称
(修士)

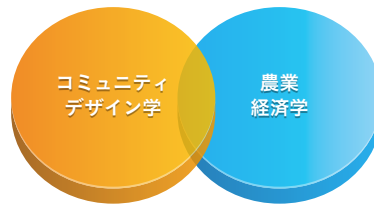
コミュニティデザイン学プログラム
学術

農業・農村経済学プログラム
農学

豊かな地域をデザインする実践力を身につけます。

●修得できる能力

「コミュニティデザイン学」と「農業経済学」の分野を融合した学びを展開し、未来につながる地域社会の実現に貢献するための「地域社会デザイン能力」を修得します。都市農村の営み、つながり、制度・政策をデザインするための複合的・学際的なアプローチ方法と理論を学ぶとともに、「地域政策」「農業経済」「地域観光」などのテーマを学術的に分析し、専門的な知見を現場で活用できる能力を養います。



育成する人材像

都市農村の地域社会における豊かな営み、つながり、制度・政策を学際的な視点から問い直し、デザインするための、高度な理論的知識と実践知を備えた人材を育成する。

想定している出口

公務員、コンサルタント、社会福祉関連法人、シンクタンク、地域貢献型企業、地方議会議員、農業生産者、農業関連産業（JA、農業資材産業、農産物流通業者など）、食品関連産業（食品製造業、食品流通業者、外食産業など）、NPO職員

主な開講科目

- コミュニティデザイン学プログラム専門科目**：政策形成と協働、福祉経営論
- 農業・農村経済学プログラム専門科目**：農政学、アグリビジネス論、環境経済学
- 融合科目(コース専門)**：地域社会デザイン学分析論：実践を問い直す

地域創生科学専攻 地域デザイン工学コース

学位名称
(修士)

建築学プログラム
工学

土木工学プログラム
工学

農業土木学プログラム
農学

工学的な視点を軸に魅力ある地域をデザインします。

●修得できる能力

地域の発展を工学的な立場から支えられる高度専門技術者をめざし、地球環境の変化に適応した建築や都市、農業、国土基盤を創造する力を養成。工学分野の「建築学」「土木工学」、農学分野の「農業土木学」を融合的に学び、グローバルな視点と多様なスケールで地域を包括的にデザインするための知識・技術を身につけます。国際社会でも通用する技術展開力、コミュニケーション能力、キャリア開発能力も合わせて修得します。



育成する人材像

建築学プログラム、土木工学プログラム、農業土木学プログラムからコアとなるプログラムを専攻しながら、これらの学際領域を含めた高度な工学技術を修得し、地球環境の変化に適応した良好な建築や都市・農業・国土基盤を整備あるいは再創出し、地域の発展を支える人材を育成する。

想定している出口

公務員、公益企業（鉄道、電力、ガス、道路等）、建設会社、建築会社、設計事務所、建設・農業土木・環境のコンサルタント、住宅・建築材料・建設材料・橋梁のメーカーなど

主な開講科目

- 建築学プログラム専門科目**：建築構造学特論、都市解析特論、建築インターンシップ
- 土木工学プログラム専門科目**：橋梁工学特論、海岸工学特論、防災マネジメント特論
- 農業土木学プログラム専門科目**：環境数理、地域マネジメント、農業農村開発と技術協力

特色ある学際研究を展開する11コースで、

地域創生
科学専攻

グローバル・エリアスタディーズコース

学位名称
(修士)

国際学

グローバル時代における社会の理想像を探求します。

● 修得できる能力

世界各地の多様性を分析する「エリアスタディーズ」と、国家主体・非国家主体・市民の適切な連携を考察する「グローバル・ガバナンス学」、開発途上国の支援と発展を研究する「開発学」を融合し、多様な視点から新しい社会の在り方を模索する実践力を身につけます。世界各地の多様性を踏まえながら、あるべき政治・社会・経済のモデルを提示し、それに基づく社会発展の道筋を示す力の修得が目標です。



育成する人材像

グローバルな観点からアジア諸国や他地域の発展途上国を念頭にして、持続可能な発展・豊かさや平和の実現に向けた社会づくりのために、国際開発・国際協力を含む、広く海外で活躍する人材を育成する。

想定している出口

国内でグローバル化に対応する部門を持つ民間企業、県庁や市役所の国際化対応部門、グローバル展開企業、国際開発・国際協力に関連する国際機関、NGO、NPO

主な
開講科目

グローバル・エリアスタディーズプログラム専門科目：Project Management II、経済開発と社会開発、グローバル教育研究、臨地研究II、人間の安全保障と国連、タイの開発と地域社会、ラテンアメリカ社会論、東アジアの国際政治、中東の政治経済

地域創生
科学専攻

多文化共生学コース

学位名称
(修士)

学術

新しい時代にふさわしい多文化共生の在り方を模索します。

● 修得できる能力

多様な文化・社会が複雑にかかわり合う現代の実状を理解するとともに、多文化共生社会の形成に貢献するための応用力を身につけます。人文社会科学、教育学などのさまざまな分野の視点から多文化共生の世界的な課題を究明すると同時に、グローバル社会で通用するコミュニケーション能力と行動力を磨き、高度な問題解決能力を養います。



育成する人材像

グローバル化に伴って国内外の多様な分野でさまざまな社会課題が生起していることを踏まえ、文化・言語・思想・宗教・価値観・立場の異なる人々が共に生きる多文化共生社会の形成に貢献する人材を育成する。

想定している出口

旅行・観光関連をはじめとするサービス業、自治体職員、言語コミュニケーション能力を生かした職種(日本語能力を生かした就職=留学生)、専修免許状を持った中学・高校の英語教員、国内外の学校・企業での日本語指導者

主な
開講科目

多文化共生学プログラム専門科目：アメリカ文化研究、東アジアの文学と文化研究、人権と法、子どもの育ちと環境、多文化教育論、シティズンシップ教育論
融合科目(コース専門)：共生社会論

地域創生
科学専攻

地域人間発達支援学コース

学位名称
(修士)

学術

地域における最適な人材育成を多面的に考察します。

● 修得できる能力

「教育学」と関連する諸科学に加え、食、地域マネジメント、多文化共生学、情報工学、農学などの視点を融合し、子どもや青少年の世代を中心に「人・ヒト」の「心とからだ」をテーマとした心身の発達・成長に関する地域課題について考察します。課題解決に必要な企画・開発力、コーディネート力、実践力を総合的に身につけ、地域社会の人材育成に貢献するための素養を築きます。



育成する人材像

人間の思考、生活、健康等にかかる内面やその発達・成長の観点から、子どもや青少年をはじめとする「人・ヒト」の「心とからだ」をテーマとした現代的な地域課題に取り組むことのできる人材を育成する。

想定している出口

教育関連産業、子ども支援や教育、健康、福祉等の分野に強みをもつ地方公務員や公的法人職員、NPO職員、教員(入学時に免許を保有する者)、健康教育・ヘルスプロモーション等に関する研究者(修士取得後の博士課程への進学)

主な
開講科目

地域人間発達支援学プログラム専門科目：教育的支援学、情報メディア支援学、数理的思考支援学、健康増進支援学、臨床心理支援学、生活環境支援学、美術表現支援学
融合科目(コース専門)：地域人間発達支援の実際と課題

現代の課題に新たな視点でアプローチします。

工農創生 科学専攻 光工学コース

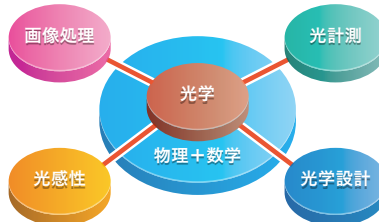
学位名称
(修士)

光工学

多様な技術を支える「光学」の高度な専門性を身につけます。

● 修得できる能力

「物理学」と「数学」を基盤に工学のあらゆる分野と関係する「光学」の基礎から実践的な技術までを修得。機械系、電気系、化学系、情報系を専門にもつ教員の指導の下、光計測技術、光学設計、画像処理、光感性工学といった応用分野の知識を深めることで、光を軸に広範囲な専門性を養い、光学の多様な産業応用に貢献できる能力を身につけます。



育成する人材像

光学に関する高度な専門知識・技術を身につけて、光学技術の創造・発展に大きく貢献する実践的な技術者・研究者及び博士後期課程へ進学して最先端光工学の発展を担う人材を育成する。

想定している出口

光学・精密機器、医療機器、自動車及び車載機器、光通信、精密加工、半導体関係、電気電子機器関連、画像情報関係、大学院博士後期課程進学

主な
開講科目

光工学プログラム専門科目： 光デバイス、プラズマ工学、数理光物理、先端フォトニクス、オプトメカトロニクス、色彩工学、ディスプレイ工学、情報数理、アカデミック・インターンシップ
融合科目(コース専門)： 基礎光学、光学基盤技術

工農創生 科学専攻 分子農学コース

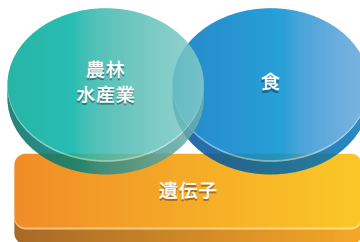
学位名称
(修士)

分子農学

遺伝子の専門性を活用し「農」「食」の安全に貢献します。

● 修得できる能力

農学、工学、理学の分野で扱う「遺伝子」に関する知識を修得。「農林水産業」「食」への応用を視野に入れながら研究を進めることにより、遺伝子レベルの事象を示しながら「農」「食」の課題に貢献できる力を養います。遺伝子を解析し、データを活用する技術とともに、論理的かつ批判的に思考する力、食の安全や生命に関わる仕事に必要な倫理観を合わせて身につけます。



育成する人材像

生物種を超えて共通する遺伝情報の解析技術と、その発現機構を農林水産分野で活用することにより新しい価値を創造できると共に、論理的並びに批判的思考力を備え、生命倫理や科学者倫理を身につけ、世界と地域とを結ぶことができる人材を育成する。

想定している出口

国家公務員、地方公務員、高校教員、製造業の研究職、農業・食品関連サービス業、卸・小売業、生殖補助医療胚培養士

主な
開講科目

分子農学プログラム専門科目： 植物分子保護学、植物分子育種学、植物分子生理学、分子進化生態学、動物分子生理学、動物生殖遺伝学、森林分子生態
融合科目(コース専門)： 遺伝子情報解析技術論、細胞解析技術論

工農創生 科学専攻 物質生命化学コース

学位名称
(修士)

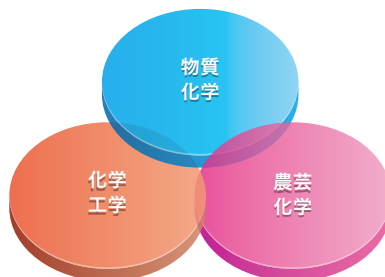
物質環境化学プログラム
工学

農芸化学プログラム
農学

工学・農学の枠を超えた創造的な化学の力を身につけます。

● 修得できる能力

工学分野と農学分野の化学をシームレスに学ぶことで、工業生産などマクロの視点と、生理活性物質・細胞などミクロの視点とを併せ持つ、これからの時代に必要とされる実践的な化学的素養を養います。物質化学や環境保全分野への貢献をめざす「物質環境化学プログラム」と、機能性物質開発や生命化学関連の問題解決に取り組む「農芸化学プログラム」を用意し、それぞれに対応した実践力を磨きます。



育成する人材像

化学的素養を基盤として、材料開発、環境保全、機能性物質開発、生命化学におけるさまざまな課題を俯瞰的にとらえ創造的に解決できる人材を育成する。

想定している出口

化学系(材料、エネルギー、製薬、食品、環境など)、食品関連企業、製薬関連企業、自動車関連、電機、情報通信、公務員

主な
開講科目

物質環境化学プログラム専門科目： 物理化学要論、分子構造化学、分子機能化学
農芸化学プログラム専門科目： フロンティア農芸化学、生理活性物質化学、栄養生理化学
融合科目(コース専門)： バイオデザイン・プロセス学、環境分析化学、化学システム工学

設置構想中

予定であり、変更する場合があります。

工農創生科学専攻 機械知能工学コース

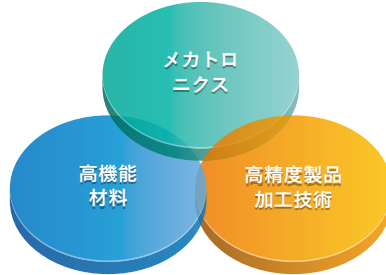
学位名称
(修士)

工 学

新たな時代で必要とされる智能機械の可能性を追究します。

● 修得できる能力

工業分野における付加価値の高い智能機械を設計するために、機械・電子・制御を融合した高度な「メカトロニクス」、「高機能材料」や「高精度製品加工」に関する技術を修得。ロボット、医療福祉機器、マイクロ・ナノなどの先進的な技術、農作業、食品加工・製造、化学製品製造とかかわる知識も合わせて養い、近年ニーズが高まっている機械製品の高度化・知能化に適應できる力身につけます。



育成する人材像

国際的に通用する研究者・技術者として、智能機械にかかわる高度な専門知識を身につけ、それを応用できる人材を育成する。

想定している出口

自動車、鉄道を始めとする輸送機械、農業機械、建設機械などのフィールド作業機械、ロボット、医療福祉機器、マイクロ・ナノ・テクノロジー応用機械、精密機械・電気製品一般、機械要素部品、電子部品、化学工業製品、食品加工、に係る研究・開発、設計・製造、大学院進学、公務員、教員

主な
開講科目

機械知能工学プログラム専門科目：マテリアル科学、材料組織評価学、伝熱工学、熱流体計測工学、高温ガス炉、生産技術工学、成形加工学、先端精密加工学、生体機械工学、マイクロ・ナノ工学、自動制御工学、ロボット力学、ロボット工学、知的エージェント

工農創生科学専攻 情報電気電子システム工学コース

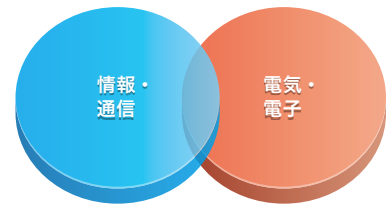
学位名称
(修士)

工 学

ヒトとモノを繋ぐ新たな情報・通信・エレクトロニクス融合技術の創生を目指します。

● 修得できる能力

「情報通信分野」と「電気・電子分野」の知識を身につけるとともに、両者を融合した学際的な学びに取り組み、複雑化する社会の課題に対応できる力を養成。さらに「感性工学」などの特徴的な授業を展開し、スマートエネルギーシステム、電気電子材料、電子デバイス、携帯電話、衛星通信、光ファイバといった領域で活用できる「ヒトとモノを複合的につなぐ先端システム」を構想する力を身につけます。



育成する人材像

高度な電気・電子・情報・通信の先端技術者として必須の基礎知識、専門知識、広い視野及び倫理観を身につけた人材を育成する。社会における電気・電子・情報・通信工学分野の果たす役割を理解し、問題意識を持って新たな問題発見と課題定立を行える人材を育成する。

想定している出口

電気・電子関連産業、情報・通信産業、機械メーカー、自動車など輸送機器製造、運輸産業、流通サービス、情報サービス、など産業基盤となる各種産業

主な
開講科目

情報電気電子システム工学プログラム専門科目：応用情報システム、ITS、ヒューマン情報解析、システムバイオロジー、信号処理、データ工学、超伝導エレクトロニクス、電気自動車
融合科目(コース専門)：数理学、量子エレクトロニクス、エンジニアコーチング

工農創生科学専攻 農林フィールド科学コース

学位名称
(修士)

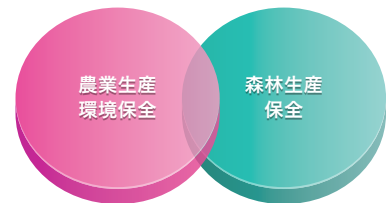
農業生産環境保全学プログラム
農 学

森林生産保全学プログラム
農 学

先端のテクノロジーを活用し、農林業フィールドに関する課題に挑みます。

● 修得できる能力

農産物の生産・加工、森林の育成・管理、食料の生産・加工・流通といった農林学とかかわる分野の課題解決に必要な専門知識を修得。それらに近年成長が著しいバイオテクノロジーやICT、IoTなどの先端技術を融合することで、従来の専門領域を超えて柔軟な発想で解決方法を導く実践力を身につけます。さらに国際協力に関する知識を修得し、持続可能な農林業の在り方を世界規模で考えられる視点を養います。



育成する人材像

農産物の生産・加工、林産物加工、森林育成管理・利用、資源循環、環境保全、雑草鳥獣管理等に関する高度な知識と技術を身につけることに加え、最新のバイオテクノロジー、機器・化学分析、ICT、IoTなどの技術を活用して省力・高品質生産を実現する新たな農林業に関する知識と技術を身につけて、国や県の農林業及び環境保全に国際的な視野に立って貢献できる人材を育成する。

想定している出口

国家公務員、地方公務員、教員、JAグループ(全農・単協)、種苗・肥料・飼料関連企業、食品・環境関連企業、森林・林業・林産企業・団体など

主な
開講科目

農業生産環境保全学プログラム専門科目：地域土壌圏管理学、動物行動管理学、生物環境調節学
森林生産保全学プログラム専門科目：森林植物学、樹木木質学、森林計画学、森林経済学
融合科目(コース専門)：スマート農林業、政策課題演習

資料3 調査票様式(学部学生版)

**宇都宮大学大学院「学際創生科学研究科（仮称）」（修士課程）
設置計画案に関するアンケート**

本学では、既存の4研究科（国際学研究科，教育学研究科，工学研究科，農学研究科）を統合再編し，一研究科として「学際創生科学研究科」（仮称）（修士課程）への改組を計画しています（別添の概要資料をご参照ください。）。

新しい大学院は、『地域の変革をリードする「知の拠点」として，21世紀の複雑化した課題を解決するために，新しい学際的な領域に挑戦することによって，革新的な制度・システム・イノベーション等の創生を支える高度な教育，研究，社会貢献を实践して，豊かな社会・生活の実現に貢献する。』ことを理念としています。

このアンケートは，進学する可能性のある学部学生の皆さんのニーズを把握し，新しい研究科の計画策定の参考とするために実施するものです。調査結果は，大学院教育改革のために活用させていただきますので，ご協力よろしくお願いたします。

なお，このアンケートで得られた情報や回答は統計的に処理し，個別の情報が公表されること及び上記目的のための統計資料としてのみ利用し，目的以外には利用することはありません。

※ 回答は，別紙回答用紙にご記入ください。

I あなた自身（学生本人）についてお伺いします。

問1 あなたが所属する学部・学科等を教えてください。

- | | | | |
|------------|--|------------------|-------------|
| ・地域デザイン科学部 | (11) コミュニティデザイン学科 | (12) 建築都市デザイン学科 | |
| | (13) 社会基盤デザイン学科 | | |
| ・国際学部 | (21) 国際学科 | (22) 国際社会学科 | (23) 国際文化学科 |
| ・教育学部 | (31) 学校教育教員養成課程 | (32) 総合人間形成課程 | |
| ・工学部 | (41) 機械システム工学科 | (42) 電気電子工学科 | (43) 応用化学科 |
| | (44) 建設学科建築学コース | (45) 建設学科建設工学コース | (46) 情報工学科 |
| ・農学部 | (51) 生物資源科学科（※生物生産科学科植物生産学，動物生産学，応用生物学コースを含む。） | | |
| | (52) 応用生命化学科（※生物生産科学科応用生物化学コースを含む。） | | |
| | (53) 農業環境工学科 | (54) 農業経済学科 | (55) 森林科学科 |

問2 あなたの学年を教えてください。

- ① 1年次〔2017（H29）年度入学生〕 ② 2年次〔2016（H28）年度入学生〕
③ 3年次〔2015（H27）年度入学生〕 ④ 4年次〔2014（H26）年度以前入学生〕

問3 あなたは現在，大学卒業後に大学院への進学希望がありますか。

（ここでは，本学以外の大学院を含めた一般的な内容でご回答ください。）（1つ選択）

- ① 進学せず就職を希望している（あるいは，就職することが既に決まっている）。
② 修士課程・博士前期課程まで進学し，教養と専門性を高めたい（**修士**取得後に就職希望）。
③ 博士後期課程まで進学し，さらに高度な専門性を身に付けたい（**博士**取得後に就職希望）。
④ まだわからない，決められない。

※ ①，④と回答した方は，ここで質問終了です。

※ ②，③と回答した方は，次の質問へ。

問4 問3で②, ③と回答した方にお尋ねします。

大学院進学に関しての動機づけとなる理由を教えてください。(選択は2つまで)

- ① 学部で身につけた知識・技能を更に深めたい。
- ② 大学等の教育機関, 企業等で研究・開発に携わりたい。
- ③ 教養と専門性を共に修得し, 専門職にとどまらない, 多様な職域で活躍したい。
- ④ 研究を通して企業や国内外の大学・研究機関とも連携し, グローバルに活躍したい。
- ⑤ 地元に貢献したい。
- ⑥ その他(具体的に:)
- ⑦ 特に理由はない。

II 学際創生科学研究科(仮称)の設置構想についてお伺いします。(別添の概要説明資料をご覧ください。)

学際創生科学研究科は, 既存の4研究科14専攻から「地域創生科学専攻」と「工農創生科学専攻」の2専攻に改編し設置されます。この構想は, 地域・国際双方向性を持った地域の知の拠点としての機能強化を趣旨とし, 主に文理・分野融合による新領域への挑戦と俯瞰力・独創力の養成, 産学官連携による実践教育で体系的な知識と実践的な能力の育成, 強み・特色のある世界水準の教育研究分野の強化を図るものです。

問5 学際創生科学研究科では, 専門性(学位)を担保しながら, 学際性・俯瞰力・複眼力などを身につけて新しい課題にも柔軟に対応できる力を養成します。

あなたは, 以下の特色について, どの程度魅力を感じますか。

(各項目について, 1つ選択)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
問5-1	地域と国際の観点からグローバルな素養を養成します。	①	②	③	④
問5-2	文系の学生も, データサイエンスや統計処理など理系の素養を養成します。	①	②	③	④
問5-3	理系の学生も, 経営マネジメントや福祉問題など文系の素養を養成します。	①	②	③	④

III 学際創生科学研究科の設置構想について, 知りたいことやご要望があれば教えてください。

[]

アンケートは以上となります。
ご協力ありがとうございました。

宇都宮大学新大学院設置準備室
連絡先 宇都宮大学総務課 (028-649-5010)